



11月18日 美しい紅葉が望める場所で



「新宿の森・あきる野」の針葉樹と広葉樹

「新宿の森・あきる野」は、新宿区とあきる野市が森林整備をして二酸化炭素の吸収量増加を図り、区民の自然体験学習や住民相互の交流促進の場として活用することを主な目的として、整備を行っている市内の森です。

平成23年には、第1期森の子コレンジャーと共に参加し、新宿区民の皆さんとカツラやクリなどを植樹しました。その後は、毎年下草刈り作業、昨年

からは間伐や枝払いなどの作業を続けています。今年も新宿区民の皆さんに「森っていいなと思う気持ちを持ち帰ってもらおう」を合言葉に、森の整備作業を東京都農林水産振興財団、株式会社東京チェーンソーズ、戸倉東部自治会の皆さんが担当し、ネイチャーガイドツアーをレンジャーが担当し、自然体験を実施しました。



地図を確認しながら山を歩く



仲間に自分が考えた自然クイズを出す

「森の子コレンジャー活動」では、10月に予定していた登山が、台風の影響で延期となったため、11月19日に実施しました。地図を読みながら山を歩き、いろいろな自然を発見しました。太陽の暖かさ、風の冷たさ、木々の色やにおい、それから自分の力も感じた登山となったのではないのでしょうか。

次回は12月、ピオトープ作りです♪

山に落ちていたゴミを拾う →



「森の子コレンジャー同窓会」

第1期から現役コレンジャーまでの11名が集い、ビオトープ整備活動を実施しました。午前中は雨……室内で、ビオトープのその後や今日の作業説明、センサーカメラに映ったビオトープに訪れる野生動物の映像確認、お互いの近況報告など雨で良かったと感じる交流もできました。

お昼ごろから雨もやみ一気に晴れ！いざ、森へ出発～！ビオトープの現状はというと、10月の2度の台風の影響で池は土砂が流れ込み水深が浅くなり、昔道は大雨によって、えぐられてしまいました。今回の作業は、池チームは土砂を掘り出し水路

を整える、森チームは後輩のための広場作りと池整備のための材料集め、昔道チームはえぐられてしまった場所の土留め作りとなりました。小学校5年生から高校1年生までと一緒に活動し、12月に現役コレンジャーが安全に活動できるようにする作業が無事終了しました！

「楽しかった」「ビオトープを見られて嬉しかった」「みんなに会えて嬉しかった」「森林レンジャーに会えて嬉しかった」「また来ます」と、みんな笑顔で帰っていきました。

また、自然の中に集い共に活動しましょうね！自然と後輩のために協力ありがとう！！



ムカシヤンマ（絶滅危惧種）と思われるヤゴ



第1期から続く最後の一本締め（加瀬澤）